

ロータリー財団について

2022年・2023年ロータリー財団資金管理セミナー

2022年8月6日(土)ロータリー財団委員長 小野寺 則雄



ロータリー財団について

経緯

1917年国際ロータリー第7第会長アーチ・C・クランプ氏がアメリカジョージア州アトランタの国際大会において、世界でロータリーが慈善・教育・その他社会奉仕活動において基金を募って「世界によいことをすること」が最良の方法であると演説したことが財団の始まるきっかけとなり、同年に米国カンサスシティーRCから26ドル50セントの基金が入り発足しました。以来、今日まで105年が経過し、今や200を超える国、地域を含む世界の中でも規模、内容において4つ星の財団であると評価されています。

ロータリー財団の標語
(**Motto of The Rotary Foundation**)

世界でよいことをしよう

☆ロータリー財団の使命、目的

世界理解・親善・平和を構築するために奉仕を通して社会貢献をしながら推進することです。

☆ロータリーの最優先事項 「ポリオの根絶」

1985年よりポリオ撲滅に力を注いでいます。現在では常在国は、パキスタン・アフガニスタンの二か国です。しかし、2021年12月にマラウイに発症パキスタンから流入したのではないかとされています。今年度はパキスタンで15カ月ぶりに5月に1件発症例が見られ、その後6月末時点の発症は10件に上りました。また、モザンビークでは1件、アフガニスタンでも1件の発症例が確認されています。

2022、23年寄付金目標

年次基金 一人当たり 150ドル

- 毎年全会員にお願いする基金
- 全クラブ寄付金0クラブ0を達成する

ポリオプラス基金 一人当たり 30ドル

- ポリオ根絶のために全額使用される。

災害復興基金

- 災害発生時に使用される。

恒久基金

- 元金は使わず、運用収益を翌年の活動に使われる
- ベネフェクター
- 冠名基金

財団寄付金 日本と世界の比率

	日本	世界
年次基金	13, 127, 108, 75	124, 017, 297, 38
ポリオ基金	2, 070, 628, 86	25, 665, 682, 74
恒久基金 その他基金	1, 930, 240, 91	60, 958, 426, 42
年次基金1人当たり	157, 02	105, 66

2520地区

年次基金	183, 304, 68	ポリオ	15, 113
一人当たり	85. 98	一人当たり	7, 08

世界の寄付ランク

1位・・・アメリカ

2位・・・韓国

3位・・・インド

4位・・・日本

5位・・・台湾

日本の寄付金1人当

1位・・・2580地区(東京) 229ドル11セント

2位・・・2770地区(埼玉) 217ドル43セント

3位・・・2660地区(大阪) 214ドル17セント

4位・・・2590地区(神奈川) 210ドル81セント

5位・・・2750地区(東京) 199ドル84セント

ワースト

1位・・・2730地区(宮崎・鹿児島) 74ドル01セント

2位・・・2540地区(秋田) 78ドル99セント

3位・・・2520地区(岩手・宮城) 85ドル98セント

4位・・・2740地区(佐賀・長崎) 88ドル85セント

平和フェローシップの育成

2001年より国際ロータリーでは平和センターを開設しました。
世界平和・紛争解決のための活動・人材育成のために活動しています。

- 1、日本(東京) 国際キリスト教大学
- 2、オーストラリア(ブリスベン) クイズランド大学
- 3、スウェーデン(ウブサラ) ウブサラ大学
- 4、イギリス(ウェストヨークシャー) ブラットフォード大学
- 5、アメリカ(ノースカロイナ) デューク大学
ノースカロライナ大学チャペル校
- 6、アフリカ(ウガンダ) マケレレ大学
- 7、タイ(バンコク) チュラロコン大学

